

平成30年度東京都予算要望 都知事ヒアリング報告

2017年11月6日（月）14：00～14：15に「各種団体からの東京都予算に対する知事ヒアリング」が実施され、東京都生協連も昨年度に引き続き参加しました。東京都からは小池都知事、長谷川副知事、関係局長、他事務局が、東京都生協連からは、竹内会長理事、石田副会長理事、秋山専務理事、事務局2名の5名が出席しました。

竹内会長理事より、8月2日（水）付けで東京都に提出した「平成30年度東京都予算に関する提案および要望」を小池知事に手交し、以下の3点を重点として要望をしました。

- ①見守り協定締結した各組織との定期的な情報交換の場づくり、高齢者・子育て世代が集まり交流できる場づくりのために、都有地・公共施設、民間の空き家の活用について。
- ②災害対策として、都民に被害想定や事前の備えなどに関する情報提供を強めること。また、災害発生前から市民団体と連携して、情報交換やネットワークの仕組みの確立について。
- ③配送車両の駐車規制に関して、荷捌き時間に配慮した見直し、規制強化地域における駐車スペースの大幅な増設、地域の見守りや防犯に寄与する生協の車両への配慮措置について。

これに対し、都知事および財務局長より、生協の要望は都民のニーズと合っているので、よく分析したうえで要望について検討したい旨の回答がありました。

特に懸案だった駐車規制問題については引き続き検討していきたい旨を、小池都知事から直接言及されました。今後も引き続き、都民生活と地域社会づくりに貢献する生協の役割を広く知らせるとともに、関係業界とも情報交換や連携を進めていきます。



会長理事より要望書の手交とヒアリングの様子

[東京都生協連からの出席者]

竹内会長理事、石田副会長理事（パルシステム連合会理事長）、秋山専務理事、東京都生協連事務局2名、計5名